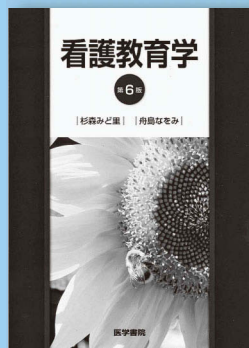


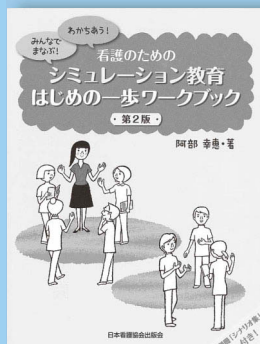
今月の 新刊紹介



看護教育学 第6版

編：杉本みど里／舟島なみ
発行：医学書院
定価：4800 円＋税

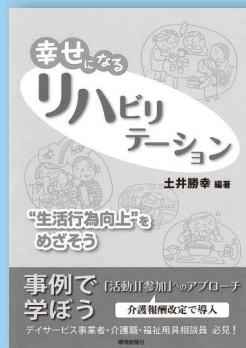
初版発行以来 30 年近く、看護教育学の最も標準的なテキストとして信頼を得てきた本書。第 6 版の改訂では、看護師等養成所の指定・監督権限が厚生労働大臣から都道府県知事に委譲されるのに伴って示された「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」などの法規と制度改正を反映している。



看護のための シミュレーション教育 はじめの一步ワークブック 第 2 版

著：阿部幸恵
発行：日本看護協会出版会
定価：2200 円＋税

基礎教育・卒後教育ともに導入が進んできているシミュレーション教育。その基礎的な理論の解説をベースとして、シミュレーション教育の進め方について詳説している。準備から実施にいたるまでの一連のプロセスについて網羅的に説明されており、これから導入を考えている管理者にぴったりの 1 冊。



幸せになる リハビリテーション

編著：土井勝幸
発行：環境新聞社
定価：1800 円＋税

2015 年度介護報酬改定で、リハビリテーションのあり方があらためて問われた。上限までの「機能回復」ではなく、患者を生活者として捉え、日常生活を送るための「生活行為の回復」を目的とした「生活行為向上」が重要となる。本書では、そうした取り組みの優良事例を多数紹介している。



マンガでやさしくわかる 認知行動療法

著：玉井仁
シナリオ制作：星井博文
作画：深森あき
発行：日本能率協会マネジメントセンター
定価：1500 円＋税

物事をどのように捉えているかを客観的に把握し、自らの「認知」を明らかにする過程、そしてその認知に対して無意識に起こしている「行動」を俯瞰し、問題解決行動へと転換する過程を踏みながらストレスをマネジメントする「認知行動療法」を、マンガのストーリーとともに優しく学べる入門書。



去りゆく人に寄り添う 看取りの心得

著：筒井大八
発行：現代書林
定価：1300 円＋税

長年にわたり医師として多くの人を在宅で看取ってきた経験から、ここ 20 年ほどで変わってきた「看取り」の定義や外部環境を捉え直すことを通じて、そこに関わる医療従事者の役割をも問い直す。患者本人・家族にとっての幸せな看取りを地域で支えるための考え方、実践法を提示する。



介護漂流 認知症事故と支えきれない家族

編著：山口道宏
発行：現代書館
定価：1600 円＋税

地域包括ケアの時代が到来し、介護保険による自己負担軽減やサービス充実が国が主体となって取り組んでいるが、老老介護や介護離職、家族の疲弊など、陰には在宅介護における厳しい現実が存在する。患者が退院後にどのような在宅療養生活を送るのか、あらためて考えさせられる。